

船絵馬グループ 第2号

寿都町内の8つの神社を回ったところ、4つの神社に船絵馬がありました。それらの形態は、模型のように立体的なもの、風景画が描かれているものなど、様々なタイプの船絵馬がありました。また、共通して弁財船をモチーフにして描かれている絵馬が多いことがわかりました。

NO.1 資料番号A0001
船絵馬

奉納場所：
寿都神社

作成年代： 明治13年5月吉日
作成者： 角谷与七、廣海彦太郎、廣海喜平（加賀国瀬越村）※
奉納者 / 絵馬藤（大阪黒金橋）※絵馬製作者
寸法： 770×1,010（外額を除く内寸）

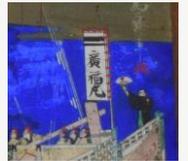
船主が奉納した絵馬

本州の船主が奉納したということから、当時は本州から多くの北前船が往来していたことが分かります。

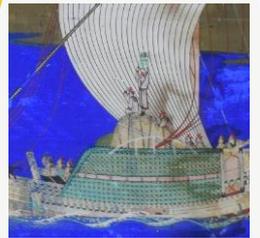
朝日が描かれている



人（乗組員）が描かれている



船の名前が書かれている



一部だけ紙を貼り合わせている箇所がある

NO.2 資料番号I0015
ガラス絵馬

奉納場所：
海神社

作成年代： 明治25年1月28日
作成者： 佐藤栄五郎 母（磯谷郡横澗村）
寸法： 39.0×29.0

美しいガラス絵馬

細部まで繊細に描かれたガラス絵馬。この絵馬は状態が良く、木枠こそ朽ちているものの、絵はきれいに残っていました。

ガラス絵とは…

透明で平板なガラス板の片面に絵具でし、その面の裏側から鑑賞する絵画。



人物3人は、写真を貼り付けているように見受けられる



船の部分にだけ「螺鈿」が用いられており、光の加減で光って見える。

螺鈿（らでん）とは…

殻の部分を磨いて薄片にし、漆で貼りつけて装飾する工芸技法。